

2013 年度より水質の環境基準追加へ 環境省



環境省は 27 日までに、海や湖沼、河川の水質を測る新たな指標として、「透明度」、水底付近に含まれる酸素量を示す「下層溶存酸素量(下層 DO)」、「大腸菌数」の 3 種類を 2013 年度から環境基準に追加する検討を始めました。

これまでは工場排水などによる汚染防止に力点が置かれていましたが、各地で水質が一定程度改善したことから、魚や藻類など水中の生態系にも配慮した新指標を導入することで、良好な水環境の保全を図るとしています。

環境省は、全国から集めた透明度など上記 3 種類の測定データを分析し、基準値や測定方法などについて 12 年度以降に中央環境審議会に諮問する予定で、答申が得られれば、新基準を告示するとしています。

当社では、水質総量規制項目である COD、窒素、リンを始め、環境基準項目である BOD などの生活環境項目の分析について多くの実績と経験があります。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2011 年 2 月 28 日付 埼玉新聞
2011 年 3 月 2 日付 環境新聞

化学分析箇所 清水いより

ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 認定範囲の拡大が承認されました！

当社では、2007 年に(公財)日本適合性認定協会(JAB)より認定を取得している試験所認定の国際規格 ISO/IEC 17025 において、この度の拡大申請が承認され、RoHS 指令の全 6 物質と LV 指令の全 4 物質、更には玩具の安全性規格に対して、認定を取得しました。